

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

2012年度 決算説明資料

2013年4月26日

東芝テック株式会社

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

決算概要(1)

- ✓ 2012年度実績は対前年で増収・増益
- ✓ フリーキャッシュフローは買収投資を除き前年度を約100億円上回る

- **売上高 4,037億円(対前年+531億円、115%)**
東芝グローバルコマースソリューション(TGCS)事業の連結化により増収。
既存事業も、海外事業が欧州や中国等の景気減速の影響により減収したものの、国内事業が好調で増収。
 - 海外事業(TGCS含む)売上 2,354億円(対前年+427億円)
 - 国内事業売上 1,808億円(対前年+111億円)
- **営業利益 159億円(対前年+51億円)**
主に増収により増益。
 - 当期純損益 62億円(対前年+36億円)
- **フリーキャッシュフロー △173億円(対前年△240億円)**
TGCS事業取得にかかる対価の支払い(337億円)のためマイナスとなったものの、同支払を除くと前年を上回りプラス。
- **配当 1株あたり4円の期末配当(年間8円)を実施**

決算概要(2)

● 連結対象会社数

事業セグメント		12年 度末	11年 度末	増減	備考
システム ソリューション	国内	6	7	△1	子会社間の合併による減
グローバル ソリューション	国内	3	2	+1	東芝グローバルコマースソリューション・ ホールディングス(株)他
	海外	79	44	+35	
合計		88	53	+35	

● 東芝グローバルコマースソリューション事業

(2013年3月末現在)

設立法人数	36社
直接販売拠点を置く国・地域数	43か国・地域
商圏のある国・地域数	約100か国・地域

2012年度 業績

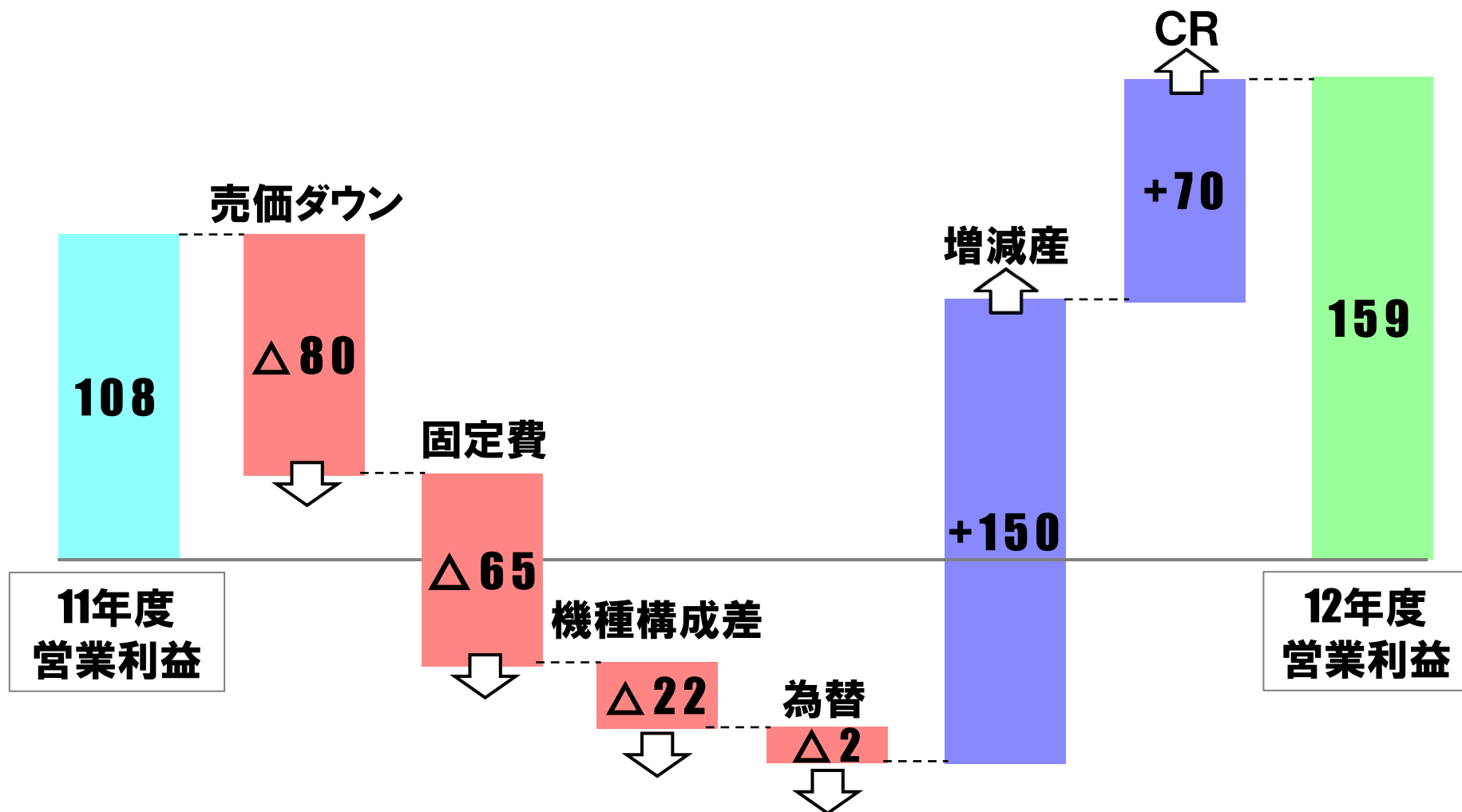
単位: 億円

	12年度	11年度	差異
			対11年度
売上高 伸長率%	4,037	3,506	531 115%
営業利益 対売上高比率%	159 3.9%	108 3.1%	51 0.8%
経常利益 対売上高比率%	149 3.7%	90 2.6%	59 1.1%
税引前利益 対売上高比率%	129 3.2%	79 2.3%	50 0.9%
当期純利益 対売上高比率%	62 1.5%	26 0.7%	36 0.8%
為替レート(円)			
US\$	83.11	79.07	4.04
EUR	107.14	108.97	△ 1.83

注. 2012年8月1日から、東芝グローバルコマースソリューション事業の業績を連結対象に組み込んでおります。

営業利益の増減分析

単位: 億円



セグメント情報(1) 売上高・営業利益

単位: 億円

売上高	12年度	11年度	差異
			対11年度
システムソリューション	1,808	1,697	111
グローバルソリューション	2,354	1,927	427
計	4,162	3,624	538
部門間取引	△ 125	△ 118	△ 7
連結計	4,037	3,506	531

営業利益	12年度	11年度	差異
			対11年度
システムソリューション	87	59	28
グローバルソリューション	72	49	23
連結計	159	108	51

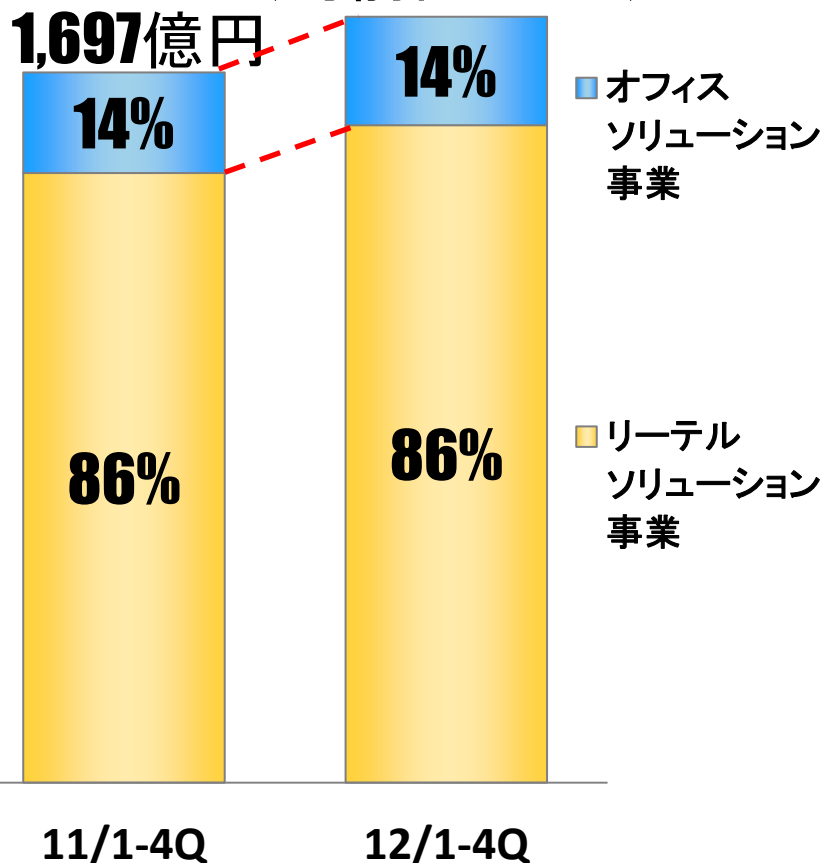
注. 2012年8月1日から、東芝グローバルコマースソリューション事業の業績をグローバルソリューションのセグメントに組み込んでおります。

セグメント情報(2) システムソリューション

事業別売上高構成比

1,808億円

(対前同107%)

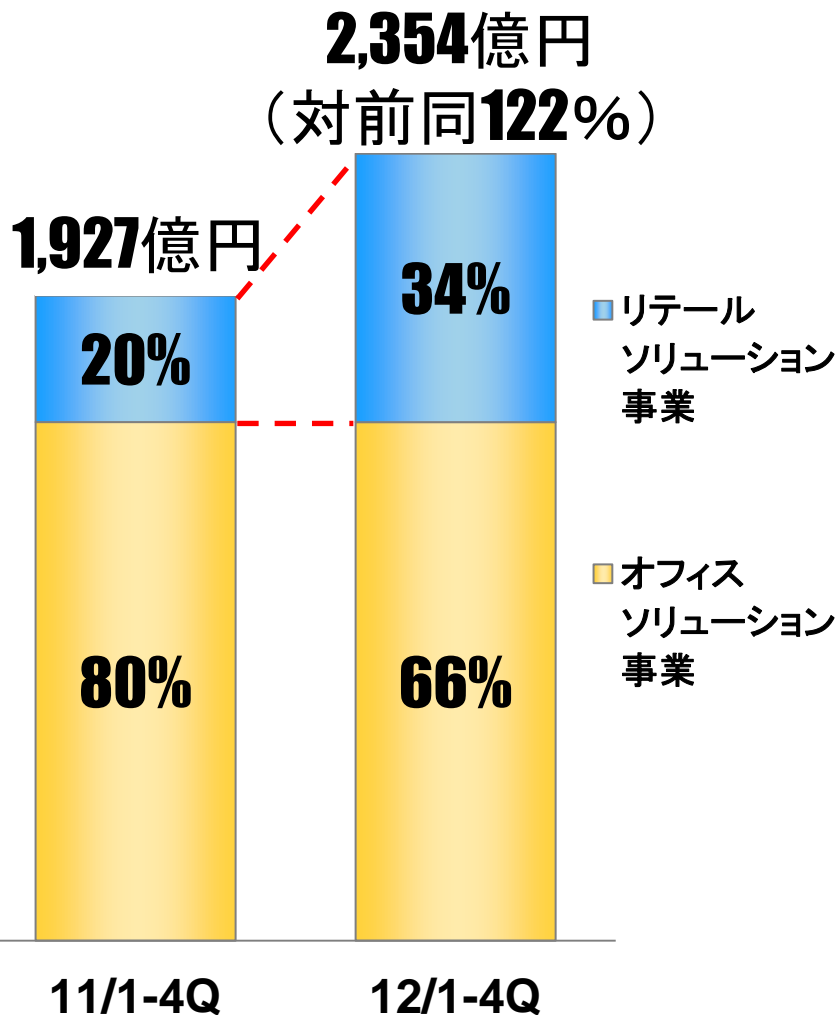


◆ リテールソリューション
年度を通して、コンビニや専門店、飲食店向けでPOSシステム関連の売上が好調。また、バーコードプリンタ、同消耗品も好調。

◆ オフィスソリューション
コスト競争力のあるカラー低速機の販売が好調でMFP全体の売上が伸長。

セグメント情報(3) グローバルソリューション

事業別売上高構成比



◆ オフィスソリューション

欧州や中国市場等の市況低迷の影響があったものの下期の円安傾向によりほぼ横ばい。コスト競争力のある低速機(カラー・モノクロ)新製品の投入で、ボリュームゾーン拡販中。

◆ リテールソリューション

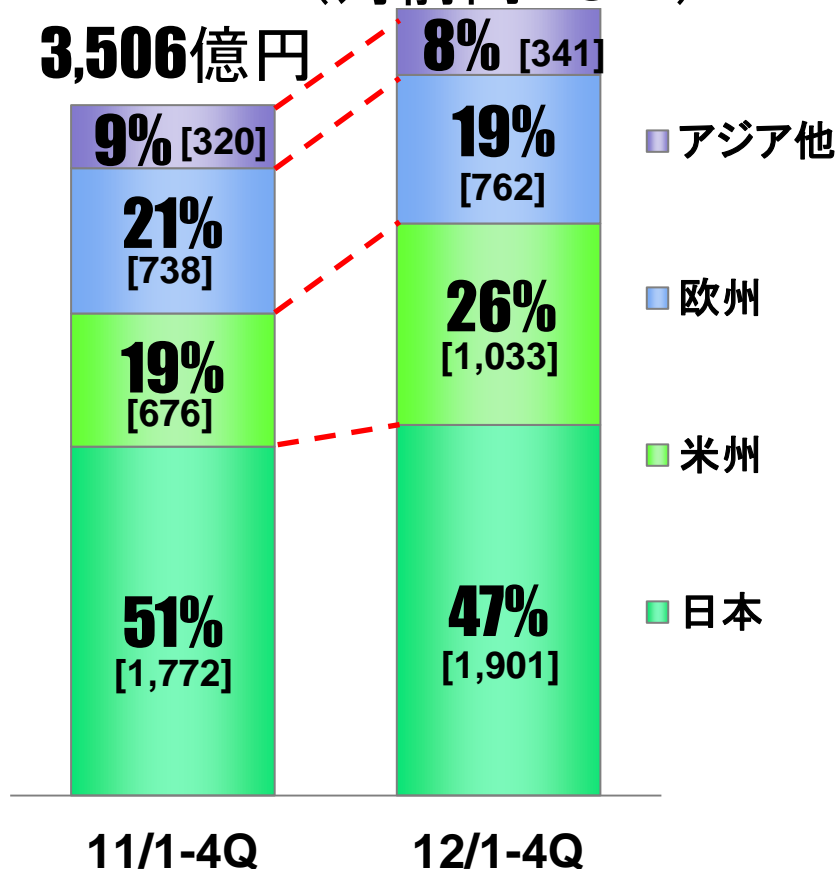
既存事業は、欧州市場の市況低迷の影響により微減。TGCSは全世界約100カ国・地域で順次営業を開始。連結化により大幅増収。

仕向地別売上高

仕向地別売上高構成比

4,037億円

(対前同**115%**)



注. 【 】 内 仕向地別売上高(単位:億円)

◆ 日本

コンビニや専門店、飲食店向けのPOSシステム、また、カラーMFPの販売が好調に推移し、増収。

◆ 米州

IBMからの事業取得の他、MFPやAIシステムが伸長し、増収。

◆ 欧州・アジア他

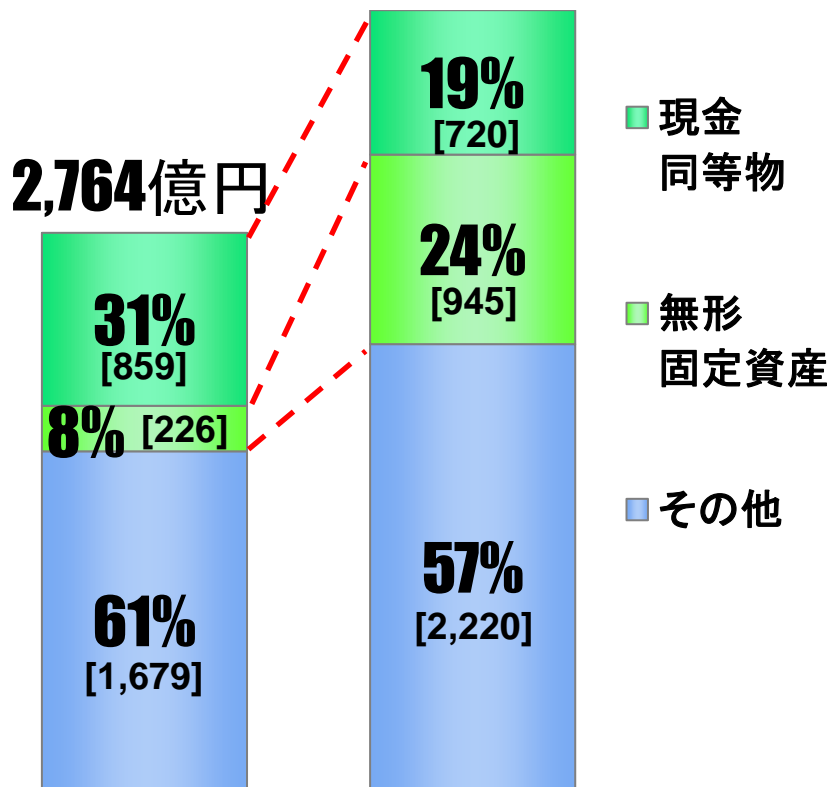
市況悪化に伴う需要減少の影響などから既存事業の売上が減少したものの、IBMからの事業取得にともなう売上分を加え、全体で増収。

貸借対照表(1)

資産の部

3,885億円

(対前同+1,121億円)



12年3月末

13年3月末

注.【 】内 科目別残高(単位:億円)

◆ 現金同等物(△139億円)
営業活動による運転資金は増加したものの、IBMからの事業取得にともなう支払(337億円)のため、減少。

◆ 無形固定資産(+719億円)
主にIBMからの事業取得にともない、のれんが584億円、その他の無形固定資産が135億円の増加。

◆ その他(+541億円)
受取手形及び売掛金(+271億円)、たな卸資産(+60億円)、その他流動資産(+186億円)等のため、増加。

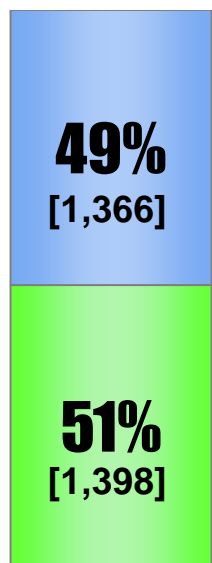
貸借対照表(2)

負債及び純資産の部

3,885億円

(対前同+1,121億円)

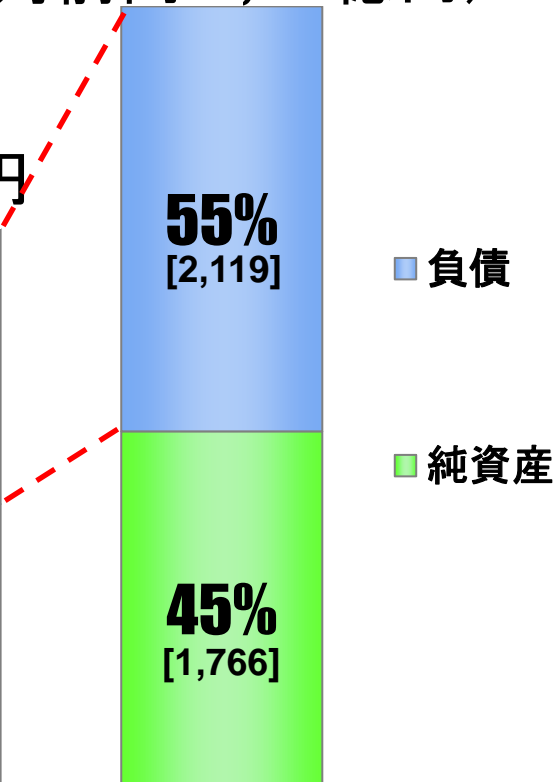
2,764億円



12年3月末

13年3月末

注: I I 内 科目別残高(単位:億円)



■ 負債

■ 純資産

◆ 負債(+753億円)

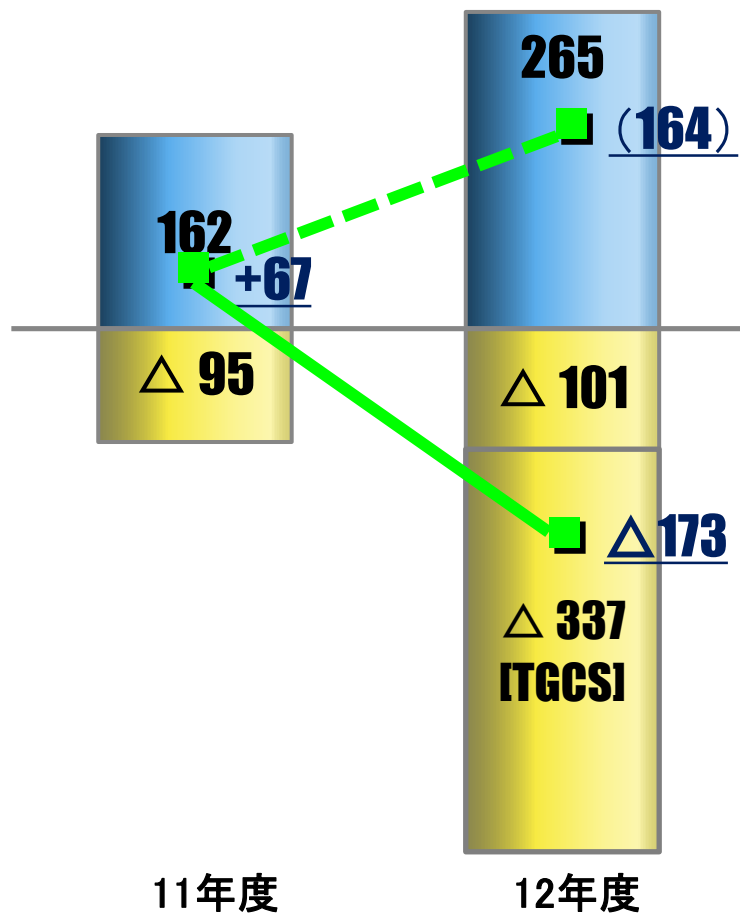
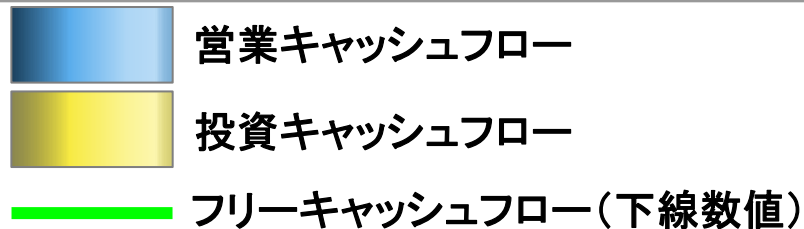
主にIBMからの事業取得にともなう対価の未払金計上や買掛金受入により、増加。

◆ 純資産(+368億円)

主に為替変動にともなう包括利益の増加やIBMによるTGCSへの出資にともなう少数株主持分により、増加。

キャッシュ・フロー

単位: 億円



◆ フリーキャッシュフロー
 TGCS事業取得にかかる対価の支払い等(337億円)のため、フリーキャッシュフローは大きくマイナス(Δ173億円)となったものの、同支払を除くと、前年の+67億円を上回り164億円のプラス。

2013年度 業績見通し

単位: 億円

	13年度	12年度	差異
			対12年度
売上高 伸長率%	4,700	4,037	663 116%
営業利益 対売上高比率%	210 4.5%	159 3.9%	51 0.6%
経常利益 対売上高比率%	190 4.0%	149 3.7%	41 0.3%
当期純利益 対売上高比率%	65 1.4%	62 1.5%	3 -0.1%
為替レート(円) US\$	93.00	83.11	9.89
EUR	120.00	107.14	12.86

注. 2012年8月1日から、東芝グローバルコマースソリューション事業の業績を連結対象に組み込んでおります。

セグメント情報 2013年度業績見通し

単位: 億円

売上高	13年度	12年度	差異
			対12年度
システムソリューション	1,840	1,808	32
グローバルソリューション	3,000	2,354	646
計	4,840	4,162	678
部門間取引	△ 140	△ 125	△ 15
連結計	4,700	4,037	663

営業利益	13年度	12年度	差異
			対12年度
システムソリューション	95	87	8
グローバルソリューション	115	72	43
連結計	210	159	51

注. 2012年8月1日から、東芝グローバルコマースソリューション事業の業績をグローバルソリューションのセグメントに組み込んでおります。

(参考)2012年度 第4四半期(1-3月)業績

単位:億円

	12年度 4Q	11年度 4Q	差異
売上高 伸長率%	1,192	926	266 129%
営業利益 対売上高比率%	40 3.4%	40 4.3%	0 -1.0%
経常利益 対売上高比率%	34 2.8%	42 4.5%	△8 -1.7%
税引前利益 対売上高比率%	29 2.5%	31 3.4%	△2 -0.9%
当期純利益 対売上高比率%	14 1.2%	13 1.4%	1 -0.3%
為替レート(円) US\$	92.42	79.27	13.15
EUR	122.04	103.99	18.05

注. 2012年8月1日から、東芝グローバルコマースソリューション事業の業績を連結対象に組み込んでおります。

TOSHIBA

Leading Innovation >>>